

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 1日

事業所名 といろ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	67%	33%	運動療育を行う時には、グループごとに療育を行い、十分なスペースを確保している	児童の放課後等デイサービスと児童発達支援の割合が変動してきたので人数差も踏まえ効率的に療育を行っていく
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	33%	67%		現時点では対象の児童もいないが必要に応じてバリアフリー化も検討していく
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	業務分担を徹底的に行い、全員が業務の内容や計画を理解し業務効率を意識している	分掌をしっかりと定め、業務の偏りが起こらないよう工夫していく
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	67%	33%		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		現在は外部評価は行っていないが、今後検討していく
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	83%	17%	積極的に内部・外部の研修を行っている	職員からも受講したい研修を募り実現していきたい
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	50%	50%		アセスメントツールの内容の見直しも定期的におこなっていききたい
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	67%	33%		
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	運動プログラムにおいてはねらいをしっかりと持ち、様々な側面から療育を行っている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	毎日計画書を作りプログラムを組んで療育を行っている	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	83%	17%	個人活動と集団活動と日々の活動及び運動活動の中で計画して行っている	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%		
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	67%	33%		支援終了時等に振り返りを行っているが、より細かく記録に起こしていく必要がある
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	担当者会議を行い、児童一人一人の計画の見直しを行っている	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	17%	83%		保護者との連携が円滑に行えず、入れ違いになることもあるので、より徹底して行っていきたい
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%	該当なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	17%	83%		必要に応じて行っているが、全員ではないので今後はもっと連携を深めたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	100%	該当なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	17%	83%		より一層連携を深めていきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		現状交流の機会を計画立てて行ってはいないが、今後検討していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	33%	67%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	SNSやというだよりを用いて日々の申し送りや連絡帳以外にも発信している	SNSを見て頂けていない家庭もあるのでもっと周知していきたい
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	67%	33%		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		相談しやすい窓口ももっと広めていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		現在はおこなっておりませんが今後検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	いつでも対応できる体制を取っている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	SNSやというだよりを用いて発信を行っている	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	50%	50%		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	67%	33%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	2ヶ月に1回行っている	訓練時から実際に災害が起こった時を想定して訓練を行う
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		定期的に繰り返し職員間で共通の認識になるように伝えていく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	100%		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		